

人工呼吸器管理下の患者に対する早期離床リハビリテーションと他職種カンファレンスの効果検討

2021年4月1日から2023年3月31日までに集中治療室へ入院し人工呼吸器管理となりリハビリ介入があった患者さん

研究協力をお願い

日本医科大学多摩永山病院 救命救急・整形外科では「人工呼吸器管理下の患者に対する早期離床リハビリテーション加算導入効果の検討」という研究を行います。この研究は、2021年4月1日より2023年3月31日までに救命救急科にて、集中治療室へ入院され人工呼吸器管理となった患者さんの早期リハビリテーション加算導入の効果を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡ください。

(1) 研究の概要について

研究課題名：人工呼吸器管理下の患者に対する早期離床リハビリテーション加算導入効果の検討

研究予定期間：研究機関の長の実施許可日～2024年3月31日

調査対象期間：2021年4月1日～2023年3月31日

研究責任者：日本医科大学多摩永山病院 救命救急科 久野 将宗

(2) 研究の意義、目的について

本研究の目的は、当院の集中治療室（ICU）で人工呼吸器管理を必要とする患者さんに対して、早期リハ加算制度の導入前後を後ろ向きに調査し、その効果を検討することです。

(3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

2021年4月1日から2023年3月31日までに日本医科大学多摩永山病院の集中治療室に入室し人工呼吸器管理を受けた患者さんのうちリハビリを受けられた患者さんのリハビリ開始病日、初回離床までの日数、ICU滞在日数、人工呼吸器装着日数、Ability for Basic Movement Scale-2、Functional Independence Measure)、在院日数などを解析し早期リハ加算制度の導入前後を後ろ向きに調査し、その効果を検討します。

・Ability for Basic Movement Scale-2：基本動作評価尺度。5項目の基本動作を1-6点の30点満点で得点をつけ、高い得点であれば高い基本動作能力であることを評価します。

・Functional Independence Measure：機能的自立度評価表。運動項目13項目、認知項目5項目の合計18項目を1-7点の126点満点で得点をつけ、高い得点であれば高い日常生活動作能力であることを評価します。

(4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

(6) 問い合わせ等の連絡先

担当者：整形外科科、アシスタントサポート・スタッフ 山下 萌

日本医科大学多摩永山病院 倫理委員会事務局

〒206-8512 東京都多摩市永山1丁目7-1

電話番号：042-371-2111（代表） 内線：2302

メールアドレス：nagayama-chicken_center@nms.ac.jp